



都市計画道路補助131号線一方通行保持に関する陳情

(19 陳情第 45 号)

| | |
|-------|--|
| 受理年月日 | 平成19年9月21日 |
| 陳情者 |   |

(要旨)

裏面のとおり

杉並区議会

荻窪駅の南口を発着するバスを利用している住民からのお願いです。
駅前を含む131号線が、現状の道路事情のままでは、現在、施行されている一方通行の規制を解かないよう陳情致します。

○ 陳情の主旨

荻窪駅は、都内でも有数の交通の要所であり、JR・地下鉄の乗り降りのもとより、買い物・待合せ・会合等に一日中多くの人々が利用しています。駅周辺に徒歩で来る住民以外にも、様々な交通機関を利用する住民にとっても、安全性を重視した最善の道路使用方法をお考え頂きたい。

○ 陳情の理由

駅周辺の住民の意見と重複する箇所もありますが、交通機関を利用する住民からの理由は、以下のとおりです。

- (1) バス利用 南口の利用者は、環八から世田谷区・高井戸東・成田西・荻窪1・2・3そして宮前・南荻窪方面にも及びます。8系統だけで一日約 13,500人が利用し、朝夕の時間帯は、過密状況を呈しています。狭い道路の両面通行では、対面車との行き来に手間取り、定刻の発着の乱れもひどくなると心配され、通勤通学の足に致命的な障害となります。
- (2) タクシー利用 乗降場の確保が困難となり、乗降者の安全性も危ぶまれます。
- (3) マイカー利用 公共交通機関の不備から、やむなくマイカーでの送り迎えが盛んです。駐車場が見付けられず、危険な乗降状況になります。
- (4) 自転車利用 省エネの面からも、自転車利用は望ましい事です。しかし、一時停車もままならず、道幅が狭いので邪魔者扱いとなりそうです。なるべく駅前通りを避けて遠回りをする、又、自転車を降りて遠慮がちに押して行くのが現状です。両面交通になると、通行の余裕が、全くなくなってしまうです。
- (5) 荷卸し車 業務上避けられない駐車ですが、駐車場もなく、道路も狭く、暫時の駐車にも、全神経集中の作業となります。

両面交通になると、ごく駅に近い住民以外に、一般住民にも、大変な困難を強いる事になります。住民の安全と生命を守る事を第一目標とし、現在の道路事情を勘案され、131号線は、今までどおり一方通行とし、両面通行としない決定をして頂くようお願い申し上げます。